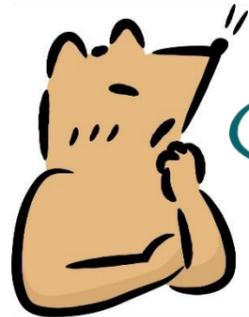


下京図書館だより

For High School Students

2024年12月発行

皆様、こんにちは。
 われら、平安時代を生きる
 その名も「鳥獣戯画〜ず」
 でおじゃる！
 われらの充実した(?)
 平安ライフをご紹介するぞよ！



フムフム…。これが平安
 ライフか…。

ある平安貴族の日常 その① 「ある日、恋をしました。」

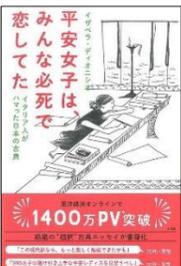


垣間見たあの美しいお姿…恋しちゃいました♡
 アナタの事が頭から離れな〜い♡

『平安女子は、みんな必死で恋してた
 イタリア人がハマった日本の古典』

イザベラ・ディオニシオ／著 淡交社

日本の古典が大好きなイタリア人女性による古典エッセイ。『枕草子』『竹取物語』『蜻蛉日記』などを題材に、平安女子の恋愛模様を読み解く。親しみのこもった語り口で、平安時代の古典を身近に感じられる一冊。



ある平安貴族の日常 その② 「和歌がうまくなりたいです。」

和歌が上手くないと、
 あの人に振り回されて
 もたえない…



誰か…和歌の指南を…。

私、藤原定家にお任せあれ！

『歌人探偵定家 百人一首推理抄』
 羽生 飛鳥／著 東京創元社



平家一門の生き残り・平保盛と和歌の才に秀でた青年・藤原定家が、百人一首に選ばれた和歌の絡む事件に挑むミステリ集。女のバラバラ死体に、紫式部の和歌が書かれた札が留められていた。犯人は誰か？残された和歌の謎とは？和歌を愛するあまり、死体に和歌が添えられていたことに「和歌を汚した」と憤慨する若き定家の激アツ和歌オタクぶりが面白い。

ある平安貴族の日常 その③ 「今日は牛車でGO！」

牛車を新調しました。
 イエーイ♡



今日は牛車で出かけるぞ！

牛車お待たせしました〜



『牛車で行こう！ 平安貴族と乗り物文化』
 京樂 真帆子／著 吉川弘文館



平安貴族の乗り物「牛車」に焦点を当て、その種類や乗り方から、同乗者との人間関係まで、牛車に関するあれこれを解説。また、絵巻物や物語などに牛車がどのように描かれていたかも紹介しつつ、図版も多数掲載。あえて牛車にピンポイントで焦点を当てた、他に類を見ない内容でオススメ。

ある平安貴族の日常 その④ 「ヤバイよ！ヤバイよ！呪詛だよ！」

寝ても覚めても
 あなたのことが好きすぎて♡



邸の床下から呪詛の木簡が！
 今すぐ陰陽師を呼べえ〜！



イヒヒ♪呪詛っちゃった〜

陰陽師・安倍晴明、
 ただいま参上！

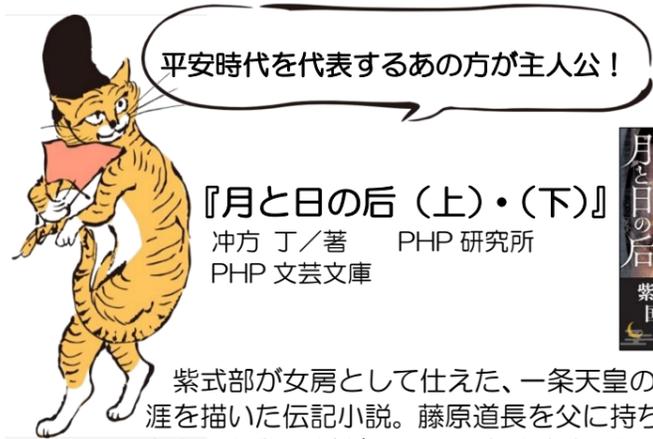


『陰陽師の解剖図鑑
 日本を裏で支えた異能の者たち』
 川合 章子／著 エクスナレッジ



平安時代に活躍した陰陽師。もともとは陰陽寮という役所の官僚に過ぎなかった陰陽師が、いかにして異能のスーパーヒーローとなっていたのか。そんな陰陽師の歴史、安倍晴明をはじめとした有名な陰陽師たちの系譜など、陰陽師を徹底解剖する。

ショックで
 夜も眠れない…



平安時代を代表するあの方が主人公！

『月と日の后（上）・（下）』

沖方 丁／著 PHP 研究所
PHP 文芸文庫



紫式部が女房として仕えた、一条天皇の中宮・藤原彰子の生涯を描いた伝記小説。藤原道長を父に持ち、天皇の母（国母）となった彰子だが、その人生は政治に翻弄され、ときに一族の出世の道具にされ…。その波乱万丈の生き様を描く。

『月ぞ流るる』

澤田 瞳子／著 文藝春秋



藤原道長の妻・源倫子に仕えた赤染衛門（朝児）の生涯を描いた伝記小説。夫を亡くし、静かに余生を送ろうとしていた朝児だったが、道長の娘で三条天皇の中宮・妍子の女房として出仕することに。しかし、宮中では天皇と道長の対立が激化。朝児はその政治的争いを目の当たりにし…。直木賞作家が圧倒的な筆致で描き出す宮廷物語。

『道長ものがたり』

「我が世の望月」とは何だったのか』

山本 淳子／著 朝日新聞出版
朝日選書



平安時代、娘たちを天皇の後とし、その御子を天皇に即位させて実権を握り、権力者の頂点に上り詰めた藤原道長。しかし、そこまで出世できたのは、兄弟の相次ぐ死やライバルの失脚など、努力だけでは如何ともしがたい強運によるものが大きかった。自身の日記『御堂関白記』などを紐解きながら、栄華を極めた道長の心の内に迫る。

子どもの本コンシェルジュの
おすすめ！

『平安のステキな！ 女性作家たち』

川村 裕子／著 早川 圭子／絵
岩波書店 岩波ジュニア新書



LINE でスタンプを送るように手紙に花を添えたり、物語の沼にハマり一日中寝そべて本を読みふけったり…。この本を読むと、教科書に出てくる平安時代の女性作家たちも、自分たちと似たような女の子だったのかと、親しみが湧き、古典が好きになりますよ。



鳥獣戯画～ず presents おススメ平安本

『見て楽しむ 平安時代の絵事典』

成美堂出版編集部／編著 成美堂出版

平安時代の日常生活や習慣などを、イラストを多用してわかりやすく解説。「平安」時代なのに喧嘩やいじめは日常茶飯事、「男が女の家へ三日通うと結婚成立」など、平安時代トリビアが満載。また、藤原道長や紫式部、清少納言など、平安時代の人物解説もあり、平安時代を網羅的に理解できる、便利な一冊。

平安時代がよくわかる！



『平安貴族サバイバル』

木村 朗子／著 笠間書院

戦もなく、平和だった平安時代。しかし、平安貴族たちは自身の出世のため、様々な策謀を巡らせ、生き残りに必死だった。思いのほかシビアだった平安時代の宮廷社会を、平安貴族たちはいかにして生き抜いていったのか。彼らの生き方は、同じくシビアな現代社会に生きる私たちのヒントになるかも？



『写真でみる紫式部の 有職装束図鑑』

仙石 宗久／著 創元社



十二単に狩衣…きらびやかな平安時代の装束がわかる書。女性・男性・子どもの衣装を網羅し、フルカラーの写真と、どういう時に着用したかなどの解説を掲載。衣装のみならず、冠や髪飾り、また宮中の遊びについても紹介している。当時、平安貴族がどんな衣装を着て、どんな暮らしをしていたのかがよくわかる。

『鳥獣戯画のヒミツ』

宮川 禎一／著 淡交社



コミカルで可愛いウサギやカエルなどの動物が登場する絵巻物『鳥獣人物戯画』。一方で、描かれた動物たちにどんな意味があるのかなど、謎も多い。京都国立博物館特任研究員の著者が独自の視点から、対談形式でその謎を解き明かす。

我ら「鳥獣戯画～ず」のヒミツが
わかるぞよ？！



大河ドラマ「光る君へ」で話題沸騰！紫式部関連本！

『紫式部と清少納言が語る 平安女子の暮らし』

鳥居本 幸代／著 春秋社



結婚・出産・仕事に終活…平安時代の女性のライフスタイルをわかりやすく解説。念入りに化粧し、美の象徴とされた長い黒髪の手入れを欠かさない、のみならずファッションセンスを磨き、和歌や管弦の才能を身につけ、時には漢籍の勉強まで…平安時代の女性もいろいろと大変だったのだなあと実感させられる。



『ワケあり式部とおつかれ道長』

奥山 景布子／著 中央公論新社

平安貴族からリアルな話が聞けるという“平安 Bar”。バーのママ・式部、パティンダー・行成、そしてバーの常連・道長をはじめとした平安貴族たちが、酒を片手に自身の経験を語る…という設定の異色平安本。酸いも甘いも噛み分けて人生を全うした平安貴族の身の上話、あなたも聞いてみませんか。



『紫式部は今日も憂鬱』

令和言葉で読む『紫式部日記』

紫式部／著 堀越 英美／訳著 山本 淳子／監修
扶桑社

『紫式部日記』を現代言葉でわかりやすく訳した書。紫式部が仕えた中宮・彰子の第一子出産の記録が中心となっており、当時の貴族女性の出産の様子がよくわかる。また、他の女房たちについて紫式部自身が感じたことが時に赤裸々に綴られていて、興味深い。



下京図書館

〈住所〉
〒600-8449 京都市下京区新町通松原下る富永町 110-1
下京修徳ふれあい福祉会館 4階
(最寄駅：地下鉄「五条」市バス「五条西洞院」)

〈開館時間〉
平日：午前9時30分～午後7時
土・日曜日・祝日：午前9時30分～午後5時

〈休館日〉
火曜日（火曜が祝日の場合は翌平日）・年末年始

貸出中の本もあります。予約できますので、
詳しくはカウンターの職員に聞いてくださいね！